文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-41

話し言葉と 書き言葉

やさしい ★☆☆ ・ 作文に ふさわしい 言葉



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 作文に 書く ときに ふさわしい ほうを 選ぼう。

1 実験の 結果は（ ）予想どおりだった。
㋐やっぱり ㋑やはり

2 毎日（ ）歯を みがく。
㋐ちゃんと ㋑きちんと

3 練習を 重ねた。（ ）、試合には 負けた。
㋐しかし ㋑でも

4 この 方法は 正しい（ ）。
㋐んじゃない ㋑のではない

5 その 町の 人口は（ ）多い。
㋐非常に ㋑すごく

6 大切な 本を なくして（ ）。
㋐しまった ㋑しちゃった

7 明日は 雨が ふる（ ）。
㋐みたいだ ㋑ようだ

8 公園には 花が（ ）さいて いた。
㋐たくさん ㋑いっぱい



ヒント

話し言葉は 声で 伝える ときの くだけた 言い方、書き言葉は 作文や 手紙など 文字で 伝える ときの 改まった 言い方だよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「同じ音の 言葉の 使い分け」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-42

同じ音の 言葉の 使い分け

ふつう ★★☆ ・ 同音異義語・同訓異字

文の 意味に 合う 字は？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 （　）に 合う 漢字を 選ぼう。

1 夏の 午後は とても（あつい）。
㋐厚い ㋑暑い ㋒熱い

2 （あつい）お湯で やけどを した。
㋐暑い ㋑熱い ㋒厚い

3 ページの 多い（あつい）辞書。
㋐熱い ㋑暑い ㋒厚い

4 体重を（はかる）。
㋐測る ㋑量る ㋒計る

5 百メートル走の 時間を（はかる）。
㋐量る ㋑計る ㋒測る

6 川の 深さを（はかる）。
㋐計る ㋑測る ㋒量る

7 鏡に 自分の 顔が（うつる）。
㋐写る ㋑映る

8 小学生を（たいしょう）に した 本。
㋐対象 ㋑対照



ヒント

同じ 読み方でも、意味に よって 使う 漢字が ちがうよ。暑い（気温）・熱い（ものの 温度）・厚い（はば）のように、意味を 考えよう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「似た・反対の 意味の 熟語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

似た・反対の 意味の 熟語

やさしい ★☆☆ ・ 熟語の 成り立ち（1）

文法

一字ずつ
意味を 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 次の 熟語は どちらの 組み立てかな。記号を 書こう。

㋐似た 意味の 漢字の 組み合わせ
㋑反対の 意味の 漢字の 組み合わせ

1	2	3	4	5	6	7	8
岩石	強弱	森林	左右	道路	売買	寒冷	勝敗



ヒント

一字ずつ 訓読みに してみよう。岩石は「いわ」と「いし」、強弱は「強い」と「弱い」だね。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「修しょく・「～を」の 熟語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-44

修しょく・「〜を」の 熟語

ふつう ★★☆ ・ 熟語の 成り立ち（2）

文に 直して みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

次の 熟語は どちらの 組み立てかな。記号を 書こう。

㋐上の 字が 下の 字を 説明する
㋑下の 字が「〜を」「〜に」に あたる

8	7	6	5	4	3	2	1
急行	乗車	白紙	洗顔	登山	深海	読書	青空
□	□	□	□	□	□	□	□



ヒント

短い 文に 直してみよう。青空は「青い 空」、読書は「書を 読む」だね。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「不・無・非・未の つく 熟語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-45

不・無・非・未の つく 熟語

ふつう ★★☆ ・ 打ち消しの 漢字

意味を
考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

□に「不・無・非・未」の どれかを 書いて、熟語を 完成させよう。

未 非 無 不

1 □完成（まだ できあがって いない）

2 □安（心配で 落ち着かない）

3 □常口（いざと いう ときの 出口）

4 □料（お金が かからない）

5 □自由（思うように できない）

6 □関心（気に かけない）

7 □来（これから 先の 時）

8 □公式（正式では ない）



ヒント

不は「～ない」、無は「～が ない」、非は「～では ない」、未は「まだ ～ない」 という 意味を 加えるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「三字・四字の 熟語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-46

三字・四字の 熟語

むずかしい ★★★ ・ 熟語の 切れ目



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 熟語の 組み立てを 選ぼう（□は 漢字 一字）。

1 新記録
㋐□＋□
㋑□□＋□
㋒□＋□□

2 運動会
㋐□＋□
㋑□＋□□
㋒□□＋□

3 不安定
㋐□＋□
㋑□＋□□
㋒□□＋□

4 衣食住
㋐□＋□
㋑□□＋□
㋒□＋□□

5 図書館
㋐□□＋□
㋑□＋□＋□
㋒□＋□□

6 高性能
㋐□＋□□
㋑□□＋□
㋒□＋□＋□

7 市町村
㋐□＋□
㋑□＋□□
㋒□□＋□

8 天気予報
㋐□＋□＋□
㋑□□＋□□

9 春夏秋冬
㋐□＋□＋□＋□
㋑□□＋□□



ヒント

意味の まとまりで 区切ってみよう。たとえば 新学期は「新しい 学期」なので「新＋学期」、音楽室は「音楽の 室」なので「音楽＋室」だよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「主語と 述語が 二組 ある文」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-47

主語と 述語が 二組 ある文

やさしい ★☆☆ ・ 主語・述語の 組を 見つける ・ 1まいめ

述語から さがそう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 文の 中の 主語と 述語の 組を、二組 書きぬこう。

1 花が さき、鳥が 歌う。（　　・　　）（　　・　　）

2 父が 作った カレーは おいしい。（　　・　　）

3 姉は 本を 読み、妹は 絵を かいた。（　　・　　）（　　・　　）

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「単文・重文・複文」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-47

主語と 述語が 二組 ある文

やさしい ★☆☆ ・ 主語・述語の 組を 見つける ・ 2まいめ

述語から さがそう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 文の 中の 主語と 述語の 組を、二組 書きぬこう。（つづき）

4 わたしは 弟が かいた 絵を 見た。

（　　・　　）
（　　・　　）

5 空は 晴れ、風は さわやかだ。

（　　・　　）
（　　・　　）

6 母が くれた 本は おもしろい。

（　　・　　）
（　　・　　）



ヒント

まず「どうする・どんなだ」に あたる 述語を 二つ 見つけて、それぞれの 主語を さがそう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「単文・重文・複文」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文 単文・重文・複文

文法

ふつう ★★☆ ・ 文の 組み立てを 見分ける

組の 数と つながり方



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 次の 文は どれに あたるかな。記号を 書こう。

㋐単文（主語と 述語の 組が 一つ）
㋑重文（組が 二つ 以上で 対等に 並ぶ）
㋒複文（一つの 組が もう 一つの 組の 一部に なる）

1 弟が 笑う。 □

2 兄が 走り、妹が 追いかける。 □

3 姉が 育てた トマトが 赤く なった。 □

4 夜空に 星が きらきらと かがやく。 □

5 わたしが 小学生の とき、この 公園が できた。 □

6 山は 高く、川は 深い。 □

7 ぼくは 先生が 話した ことを ノートに 書いた。 □

8 雨が やみ、日が 差した。 □



ヒント

主語・述語の 組が 一つなら 単文。二つ 以上で、対等に 並（なら）べば 重文、一つの 組が もう一つの 組の 一部（くわしく する 言葉など）に なって いれば 複文だよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「文と文を つなぐ 言葉」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-49

文と文を つなぐ 言葉

ふつう ★★☆ ・ つなぎ言葉（接続語）



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 （ ）に 合う つなぎ言葉を 選ぼう。

1 雨が ふった。（ ）、遠足は 中止に なった。
㋐しかし ㋑だから ㋒または

2 一生けん命 練習した。（ ）、試合には 負けた。
㋐だから ㋑しかし ㋒つまり

3 えんぴつ（ ）ペンで 書いて ください。
㋐または ㋑しかし ㋒だから

4 この 人は 母の 兄だ。（ ）、わたしの おじだ。
㋐つまり ㋑それとも ㋒しかし

5 宿題が 終わった。（ ）、テレビを 見た。
㋐それから ㋑または ㋒しかし

6 今日は 寒かった。（ ）、風も 強かった。
㋐そのうえ ㋑ところで ㋒だから

7 いい 天気ですね。（ ）、明日の 予定は どうですか。
㋐しかし ㋑だから ㋒ところで

8 駅まで 走った。（ ）、電車は もう 出た 後だった。
㋐それとも ㋑だから ㋒ところが



ヒント

前の 文と 後ろの 文が どんな 関係かを 考えよう。理由と 結果なら「だから」、反対の ことなら「しかし」、言いかえなら「つまり」だよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「尊敬語と けんじょう語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-50

尊敬語と けんじょう語

やさしい ★☆☆ ・ 動作を する 人から 見分ける



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 線の 言葉は どちらかな。記号を 書こう。

㋐尊敬語（お～になる・～れる）
㋑けんじょう語（お～する・ご～する）

1 先生が 本を お読みになる。 □
2 わたしが 先生の かばんを お持ちする。 □
3 校長先生が 朝会で 話される。 □
4 母が お客様を 部屋に ご案内する。 □
5 先生が 町を 歩かれる。 □
6 わたしが 先生に 手紙を お送りする。 □
7 お客様が お帰りになる。 □
8 わたしが 先生に 道を おたずねする。 □



ヒント

「お～になる」「～れる・られる」は 尊敬語、「お～する」「ご～する」は けんじょう語の 形だよ。動作を する 人が だれかも 手がかりに しよう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「特別な 言葉の 敬語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

特別な 言葉の 敬語

ふつう ★★☆ ・ いらっしゃる・申す など ・ 1まいめ

文法

表に
まとめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 表の □に 合う 敬語を 語群から 選んで 書こう。

	尊敬語	けんじょう語
1 行く		
2 言う		

申す
なさる
いただく
ご覧になる
うかがう
め し上がる
いたす
おっしゃる
はいけんする
いらっしゃる

できたら
はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「敬語の まちがいを 直そう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

特別な 言葉の 敬語

ふつう ★★☆ ・ いらっしゃる・申す など ・ 2まいめ

文法

表に
まとめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 表の □に 合う 敬語を 語群から 選んで 書こう。（つづき）

3	食べる	尊敬語
		けんじょう語
4	見る	尊敬語
		けんじょう語
5	する	尊敬語
		けんじょう語

申す
なさる
いただく
ご覧になる
うかがう
めし上がる
いたす
おっしゃる
はいけんする
いらっしゃる



ヒント

語群の 言葉は 一回ずつ 使うよ。目上の 人の 動作が 尊敬語、自分の 動作が けんじょう語だね。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは 「敬語の まちがいを 直そう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-52

敬語の まちがいを 直そう

むずかしい ★★★ ・ 正しい 敬語を 選ぶ

だれの 動作か
確かめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 正しい 敬語の 使い方を 選ぼう。

1 先生が「明日は 休みです」と（　）。
㋐申された ㋑おっしゃった

2 お客様、どうぞ ケーキを（　）ください。
㋐いただいて ㋑めし上がって

3 （電話で）明日、わたしが そちらに（　）。
㋐うかがいます ㋑いらっしゃいます

4 先生が わたしの 作文を（　）。
㋐はいけんした ㋑ご覧になった

5 （先生に）母が「よろしく」と（　）。
㋐申して おりました ㋑おっしゃって いました

6 （お客様に）どうぞ ご自由に（　）。
㋐お取りして ください ㋑お取りください

7 （お客様に）父は すぐに（　）。
㋐まいります ㋑いらっしゃいます

8 わたしは 明日 校長先生に（　）。
㋐お会いします ㋑お会いになります



ヒント

目上の 人の 動作に けんじょう語を 使ったり、自分の 動作に 尊敬語を 使ったりして いないかを 確かめよう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

文法 ・ つぎは この たんげんは おしまい

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）